



所 管	まちづくり企画部ラリーまちづくり課		
担 当	原	問い合わせ	0573-26-6807

報 道 機 関 各位

フォーラムエイト・ラリージャパン 2025 池袋での 大会概要発表レポートと市内概要について

7月17日（木曜日）に、東京・池袋において、令和7年11月に開催するF I A世界ラリー選手権（WRC）日本ラウンド「フォーラムエイト・ラリージャパン 2025」の大会概要が発表されました。ラリージャパン 2025 実行委員会から別紙のとおり情報提供がありましたので、お知らせします。

記

1. イベントレポート 別紙のとおり

2. 市内概要

（1）走行日：11月8日（土曜日）

（2）競技区間：恵那SS、笠置山SS

（3）有料観戦エリア：4カ所

①山岡（旧田沢）観戦エリア

大迫力のヘアピンカーブを間近で観戦できます。

②明智観戦エリア

林道からの高速ロングストレートを観戦できます。

③上矢作観戦エリア

大会屈指の絶景スポットで、つづら折りの斜面を稜線に向かって駆け上がるラリーカーを間近で観戦できます。

④笠置山モーターパーク観戦エリア

ジムカーナコース内に特設されたコース内でのテクニカルな走行と、林道を駆け抜ける山ならではの迫力あるエリアでの観戦ができます。

3. チケット発売日程

7月17日（木曜日）～8月12日（火曜日）：先行発売（抽選）

7月17日（木曜日）～：観戦付き宿泊プラン（先着）

7月17日（木曜日）～9月30日（火曜日）：ふるさと納税（先着）



8月16日（土曜日）～8月19日（火曜日）：開催市町住民先行発売（抽選）
8月23日（土曜日）～：一般発売（先着）

※観戦付き宿泊プランの販売期間は各宿泊事業者で異なる

※上記有料観戦エリアの一部への市民向け無料招待を計画中。9月に数量限定で募集を行い、応募者多数の場合は抽選により決定する

4. 購入方法

公式ホームページへ申し込む

※ふるさと納税はふるさと納税ポータルサイト、観戦付き宿泊プランは各宿泊事業者へ申し込む

5. 券種（一部抜粋）

（1）山間部SS 自家用車乗り入れ／P＆Rチケット

大人1名券	16,000円	（昨年より＋1,000円）
大人4名券	44,000円	（昨年より－1,000円）
大人1名＋子ども1名券	20,000円	（昨年より＋1,000円）
大人4名＋子ども1名券	45,500円	（昨年より－1,500円）

※子どもは3歳から中学生まで

6. チケット事業者

ぴあ株式会社

7. 前回大会からの変更点

（1）コース

根の上高原SSがなくなりました。市内のコースは、昨年度の3コースから今年度は2コースになります。

笠置山SSのコースが5km延長となりました。

（2）観戦エリア

根の上高原、山岡駅、イワクラ公園がなくなり昨年度の7カ所から今年度は笠置山モーターパーク、山岡（旧田沢）、明智、上矢作の4カ所に変更されました。

8. 写真提供について

フォーラムエイト・ラリージャパン 2025 池袋での大会概要発表の様子の写真を提供します。必要な場合は、広報広聴係へご連絡をお願いします。

報道関係各位



2025 年 7 月 18 日

ラリージャパン 2025 実行委員会

FIA 世界ラリー選手権 (WRC) 第 13 戦 日本大会 「フォーラムエイト・ラリージャパン 2025」 アニメの聖地・池袋で大会概要を発表

7 月 17 日(木)、前日までの雨が上がり薄曇り空となった東京・池袋の中池袋公園は、WRC 参戦車両の GR ヤリス・ラリー1(ディスプレイカー)や全日本ラリー選手権に出場している SUBARU WRX S4、シュコダファビア RS ラリー2 やヒストリックラリーカーなどで賑わい、街行く人々の関心を集めました。近隣に映画館やアニメ関連施設があるこの公園は、アニメの聖地として知られています。この公園から道を挟んだ場所にある、としま区民センターの会議室にて、本年の FIA 世界ラリー選手権 (WRC) 第 13 戦フォーラムエイト・ラリージャパン 2025 の大会概要説明会が開催されました。



午後 1 時から始まった説明会には、TV 局や新聞・通信社、自動車専門誌や WEB メディアなど約 70 名の報道関係者、大会パートナー、同関係者など 90 名を超す出席者が集まりました。MC のピエール北川さんが口火を切り、説明会はスタート。冒頭に、太田稔彦(愛知県豊田市長)会長は、大会コンセプトを発表しました。「本年のラリージャパンのテーマは、ラリー文化の定着を目指し、ラリー本来の楽しさにより焦点を当てたいとの思いから、“体感するラリー”をコンセプトとしました」と語り、多くの観客、ラリーファンの皆様に現地での観戦を力強くお勧めするコメントを続けました。

続いて高桑春雄競技長からは、本年計画しているラリーコースの概要が伝えられました。今回は、合計 20 本のスペシャルステージ (SS) で構成すること、そのうち豊田市内をラリーカーが疾走する豊田市スーパースペシャルステージ (SSS) と四季桜で知られる小原 SS の二つの新設ステージを設けると説明しました。続けて、これまでシェイクダウンとして活用してきた鞍ヶ池公園を、シェイクダウンののちに SS1 として競技活用すること、岡崎 SSS は前回と異なるデイトライトステージとして実施すること、伊勢神トンネル SS はこれまでのコースを逆走すること、笠置山 SS は、約 5km 延長するコース設計とすることなどが付け加えられました。中でも豊田市内を走り、堤防道路のスリリングなタイトコーナーを抜けて豊田大橋に向かう豊田市 SSS の市街地コースは、ラリージャパン史上初の試みとなります。

Title Partner

Gold Partner

Bronze Partners

FORUM8

GR TOYOTA
GAZOO
Racing

ACT HOLDINGS

TAMADIC

DENSO

NKC

NISHIO

TAMADIC



続いて小坂喬峰(岐阜県恵那市長)副会長から観戦チケットの詳細が発表されました。この日から先行の抽選販売の申し込みが始まること、8月16日(土)からは地元の開催地域限定先行抽選販売の抽選申込が開始となること、一般販売は8月23日(土)から先着販売となることなどが伝えられました。続いて、注目の豊田市 SSS(豊田スタジアムサービスパーク入場券付)が大人1名13,000円となること、豊田スタジアムサービスパークの入場券は4日間通し券があること、11月9日(日)の豊田スタジアムサービスパークは先着10,000名の親子を無料招待すること、岡崎 SSS は先着1,000名の子どもを無料招待すること、山間 SS で観戦できる同乗割引観戦券の内容などを発表しています。

ラリー期間中のエンターテインメント企画については、ラリーを体感しながら学べる「ラリー大学」などについてピエール北川さんから紹介されました。ここまでが概要発表会ですが、ここでゲストのラリードライバー新井敏弘さん、梅本まどかさんが登場し、ラリージャパンの魅力などを語るトークショーを行いました。新井さんは、「ヨーロッパのラリーと大きく異なるのは、コースの多くが常緑樹の生い茂る林道を走ること、美しい紅葉をバックにするリエゾンなども楽しめる」、と語り、梅本さんは、「新設の豊田市街地コースが楽しみです。夜間のステージということもあり、ドライバーのメンタルをコントロールしないといけないかな、と感じています」、とコ・ドライバーならではのコメントを残しています。その後、スペシャルゲストの声優・三木眞一郎さんが紹介され、トークショーに加わりました。大のクルマ好きとして知られる三木さんは、「ラリーは文字通り、ぶっ飛んでいますね。できれば、熱狂的なファンの皆さんと大声をあげながら観戦してみたいです」と語り、記者席からホーッとという感嘆の声が漏れてきました。説明会ののち、トークショー出演者と会長・副会長が並ぶフォトセッションが中池袋公園で行われ、スティルカメラのフラッシュを浴び、TV カメラに向かってガッツポーズなどを披露していました。

フォーラムエイト・ラリージャパン 2025 の初日、11月6日まで約100日となりました。これからラリーウィークまでの間、様々な関連の情報がアップされることになります。どうぞお見逃しなく。

以上

本件に関する問い合わせ先(報道関係者)

ラリージャパン 2025 実行委員会 メディアオフィス担当 Mail : media-rj@rally-japan.jp